

CM楽曲に、「サカナクション」を起用！
『au × HAKUTO MOON CHALLENGE』新CM
「僕らはみんな宇宙兄弟だ。」篇
2016年8月31日(水)よりOA開始

KDDI、沖縄セルラーは、世界初の民間による月面探査レースに挑戦する「au × HAKUTO MOON CHALLENGE」の新CM「僕らはみんな宇宙兄弟だ。」篇を2016年8月31日から全国で放映開始します。今回のCM楽曲の制作には「au × HAKUTO MOON CHALLENGE」のアンバサダーを務める人気ロックバンドの「サカナクション」を起用しました。

KDDIは、「サカナクション」を始めとする各アンバサダーと共に、「au × HAKUTO MOON CHALLENGE」をより一層盛り上げていき、「夢」と「挑戦」の素晴らしさを伝えてまいります。

【サカナクション 応援ソング】

今回、「au × HAKUTO MOON CHALLENGE」という壮大なプロジェクトをミュージシャンという立場から応援する機会を頂けたことを本当に感謝しております。HAKUTOの皆さんとディスカッションしたり、月や宇宙について調べていくうちに、宇宙へ向けた彼らの努力と技術を身近で体感することで、彼らが宇宙や未来に向かっていく姿そのものを音楽で表現することが今回のCMソングにふさわしいのでは、という思いに至り、「泥臭い人々の努力」と「最先端技術」を、「合唱」と「電子音楽」に置き換え、僕らが思うサカナクションらしいHAKUTOの応援ソングを作らせていただきました。

【新CM「僕らはみんな宇宙兄弟だ。」篇 CMストーリー】



新CM「僕らはみんな宇宙兄弟だ。」篇では、HAKUTOの袴田代表が完成したローバーを「サカナクション」山口さんに披露する場面からスタートします。初めて実物ローバーを見た山口さんはワクワクしながらローバーに触れています。

ロケットを眺めながら月への思いを馳せる2人は、その後の話でも盛り上がりを見せます。来年の2017年にローバーを月へ打ち上げる話を受けて、「僕、見に行けるかな？（打ち上げる時の）音すごそうですね。」(山口さん)「あれを聞くと人生観変わると。」(袴田代表)と、2人は宇宙への夢と希望を“つまみ”に、お酒を飲み交わしています。そこへ、20年か30年後には人類が月へ旅行へ行ける時代が来ると言う袴田代表の話を受けて、「宇宙っていうか、月で初めて音楽作る人って・・・」(山口さん)「それ山口さんじゃないですか！」(袴田代表)「やってみたいね。行けるなら行ってみたいっすね。」(山口さん)と、宇宙に対する想いと期待がますます膨らんでいく2人の心を映し出すかのように、次のシーンでは壮大な宇宙が広がります。再びロケットの場所へ訪れた2人は、「楽しみですね」(山口さん)「はい。ドキドキもしてますね。」(袴田さん)と、それぞれの夢を抱きながらロケットを眺めています。

想いの形は違えど、宇宙に対する夢や希望は同じだというシーンを通じて「僕らはみんな宇宙兄弟だ。」とタイトルが入ります。クライマックスでは、「人類初の月面レースへ au × HAKUTO MOON CHALLENGE」というナレーションと共に、臨場感あふれるローバーが月面に足跡を刻みながら一步一步前進し続けています。























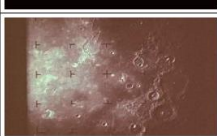
新CMはスペシャルサイト、ならびにau公式YouTubeチャンネルにてご覧いただけます。

(YouTube公式チャンネル) <http://www.youtube.com/user/aubyKDDIofficial>

(YouTube) <https://youtu.be/wr3k4swFKWc>

※2016年8月29日(月)14時30分に公開します。

【新CM「僕らはみんな宇宙兄弟だ。」篇 60秒 1/2】

<p>1</p> 	<p>サカナクション ?</p>	<p>15</p>  <p>山口:「月にいくまでにどれくらい時間がかかるんですか?」</p>
<p>2</p> 	<p>山口:「これがローバー。」 袴田:「はい。」</p>	<p>16</p>  <p>袴田:「早ければ3日ぐらいかけて行きます。」</p>
<p>3</p> 	<p>山口:「これが本当に月に行くんですか?」</p>	<p>17</p>  <p>山口:「打ち上げは2017年?」</p>
<p>4</p> 	<p>袴田:「はい、これが月にいきます。」</p>	<p>18</p>  <p>袴田:「2017年。」</p>
<p>5</p> 	<p>山口:「うおー。」</p>	<p>19</p>  <p>山口:「僕、見に行けるかな?」</p>
<p>6</p> 		<p>20</p> 
<p>7</p> 	<p>山口:「これ触っても大丈夫ですか?」</p>	<p>21</p>  <p>山口:「音すごそうですね。」</p>
<p>8</p> 	<p>山口:「想像できないですけどね。」</p>	<p>22</p> 
<p>9</p> 		<p>23</p>  <p>袴田:「あれを聞くと人生観、変わると。」</p>
<p>10</p> 	<p>山口:「おっきいですねー。」</p>	<p>24</p> 
<p>11</p> 	<p>袴田:「はい、このロケットの先端に着陸船が乗って、その中にローバーが乗ります。」 Telop: Music サカナクション</p>	<p>25</p> 
<p>12</p> 		<p>26</p>  <p>山口:「月に普通の人が旅行できるようになるのって何年後ぐらいですかね?」</p>
<p>13</p> 		<p>27</p> 
<p>14</p> 		<p>28</p> 

【新CM「僕らはみんな宇宙兄弟だ。」篇 60秒 2/2】

29			43		袴田:「それ山口さんじゃないですか。」
30			44		山口:「やってみたいね。 行けるなら行ってみたいっすね。」
31			45		
32		袴田:「楽観的かもしれないですけど、 まあ、20年、30年ぐらいで」	46		山口:「自分ができなくてもね。」
33			47		
34			48		山口:「やっぱ、 未来に嫉妬したいですよ。」
35			49		
36			50		
37			51		山口:「でも楽しみですね。」 袴田:「はい。ドキドキもしてますね。」
38			52		Telop: 僕らはみんな宇宙兄弟だ。
39			53		NA: 人類初の月面レースへ
40			54		NA: au x HAKUTO MOON CHALLENGE
41		山口:「え、じゃあ、僕ら生きている間？」	55		logo: あたらしい自由。 <i>au</i>
42		山口:「宇宙っていうか月で、 初めて音楽作る人って」			

【「au×HAKUTO MOON CHALLENGE」とは】

Google Lunar XPRIZE(グーグル・ルナ・エクスプライズ)のミッションは、民間開発の無人探査機を月面に着陸させ、月面探査ロボット(ローバー)を500m以上走行し、ローバーに搭載されたカメラで撮影した月面の動画や静止画を地球に送信することです。HAKUTO(ハクト)は、これまで開発してきたローバーの改善を重ね、実際に月面を走行することになるローバー フライトモデルのデザインを決定しました。

月面におけるミッションの遂行は、地球からの遠隔操作で進められていきます。このため月面探査の成功の鍵を握るのが「通信」です。HAKUTOは月面における通信に、地上のモバイルデータ通信に使われている周波数帯を採用することを検討しています。これは世界でも初めての試みであり、地上で培われてきた民生技術を宇宙探査へと展開する大きな一歩といえます。このチャレンジを「au×HAKUTO MOON CHALLENGE」と名付け、世界初となるHAKUTOの試みに、auが無線技術などでサポートしています。

auとHAKUTOは、今後、Google Lunar XPRIZEのミッションのひとつである月面を撮影した高解像度の動画、静止画データ送信において、auが持っている知見をもとに最適な圧縮技術の検討を進めていくほか、ローバー フライトモデルの検証試験などを共同で行っていきます。

